日本共産党杉並区議会議員

連絡先 日本共産党杉並区議団控室 2021年2月18日 3312-2111 $N_0.81$ 0 9 0 - 9 3 2 5 - 5 6 7 6 sakaimasae. 0507@gmail. com



援と、都市計画道路について質問しました。

区議会第一回定例会で、就学前の障害児への

支

杉並区議会第一回定例会

CE CILITIE

は、



2月15日 一般質問を行う

↑高井戸東地域に設置されている区 立こども発達センター

拡充を求めました。 期の発達支援は、その後の成長の基礎を築くうえ 乳幼児期の支援は特に重要 私自身も障害児を育ててきたことから、区の施策 障害を持って生まれた子どもにとって、 近年、障害児は区内でも増えている傾向にあり、 質・量ともに充実していることが重要です。

設の児童発達支援事業所があり、それぞれ役割分 就学前の障害児への発達支援を行う施設として しています。 区立施設「こども発達センター」と、 民間施

発達支援事業の拡充は急務

た。

設が手狭になっていることは認めましたが、 増加に伴い、一人の療育日数が減らされている 設の増設については行わない姿勢を示しま る実態を告発し、厚労省の整備の考え方に沿っ 実態や、施設内の療育室、 た増設をするよう杉並区に求めました。 今後も障害児の支援拡充のため、 こども発達センターでは、 職員室が不足してい 利用する障害児 力を尽くし 区は施 施

ていきます。

た。 と答弁しました。 応していると答弁。 することから、 カ所ありましたが、今年度末に15カ所へと減少 児童発達支援事業所は、2019年度には 早急に施設数を20カ所に戻すよう求めまし 区は、行き場がない障害児がないように対 児童の療育機会を確保するため 療育枠の確保を行う

乳幼児



都市計画道路補助133·221号線 住民合意のない計画は見直しを

号線の計画見直しを求めました。が反対している補助133号線、221都市計画道路の質問では、多くの住民

議会へ届けました地域住民の声を

打つという事態が発生しました。を得ないまま測量を行い、無許可で鋲をましたが、3月には私道の所有者の了解2020年1月から測量が開始され

ると答えました。
こうしたことが起こらないよう要請すく求めるべきと区に迫りました。区は、無許可での測量はしないよう都に強



南阿佐ヶ谷の中杉通り 補助133号線計画地

区長が住民との懇談を拒否

を大きく後退させました。 一年前の議会で区長は、私の質問に対し、地域住民との懇談会をやっても良い。 は今回の質疑で早急に懇談を実現するは今回の質疑で早急に懇談を実現するはから正式に区長に対しいとを求めました。本年1月27日には住民団体から正式に区長に対しい。地域住民との懇談会をやっても良いがあった。

拡幅する計画です。
5mの道路幅員を約3倍の16mへとさ290mの生活道路で、現状5.4番助221号線は、高円寺北地域の長

ってはならないと迫りました。声を無視して事業を強行することはあいを求める声があがりました。住民の路開発の内容に、多くの住民から見直されましたが、立ち退きを迫られる道い年末、事業概要、測量説明会が開催

ませんでした。事を進めると、これまでの姿勢を変え必要な道路。住民の理解を得ながら工区は、補助133号線も221号線も

は見直すように都、区に求めていきまう後も、住民の声を無視した道路計画

健康の話

ヒートショックに注意

をいいいです。 とートショックとは、気温の低いとこ このような季節に気を付けたいのが、 このような季節に気を付けたいのが、 このような季節に気を付けたいのが、 まだ厳しい寒さがつづきます。それでも、 まだ厳しい寒さがつづきます。それでも、

の変化です。
く変動することがきっかけで起こる、体な温度変化によって、血圧が上下に大き屋から寒い部屋への移動などによる急激屋から暖かい部屋へ、または、暖かい部

予防としては神や心筋梗塞、脳梗塞が起こります。知られています。血圧の変動により、失物に冬季の入浴時に起こりやすいので

-) 入浴前に脱衣室と浴室を暖かくする
- ② 湯船に入る前に、シャワーやかけ湯で
- し、長湯をさける (4度以下)と

3

入浴前後に、コップ1杯の水分補給を

4

- ⑤ 入浴前のアルコール、食後すぐの入浴
- 血圧が高いときは入浴を控える
- などです。家庭内で家族が守る体制をつくる

お困りのことがありましたら、酒井に

9。